

Step #01

エンジン

エスカレードだから…という弱点はない

エスカレードのエンジンルーム内におけるチェックポイントは「スロットルボディ」「ウォーターポンプ」「プラグ&プラグコード」「テンショナー&プリー&ベルト」といった箇所である。これだけ見た限りでは、エスカレードだから…というよりは比較的どんな車種にでも当てはまりそうな箇所ばかりが並んでいる。そう、ズバリいってしまうと、「コレ」というウイークポイントは存在しないのだ。よって、適切な処置さえ施しておけば問題ないというわけ。ある意味「安心」と感じるだろう。

ちなみに、上記ポイントに関する症状はというと、スロットルボディについてはスロットルバルブ付近にたまったスス汚れが問題で、このススが吸気エアとともにエンジン内へ入り込むことでエンジン不調の原因となったりもする。些細なことのようにも感じられるが、こういったことを疎かにしておくと不調を促進してしまうことになるのだ。ウォーターポンプは、エンジンブロックとの付け根部分からの水漏れに注意が必要となる。これはシールの劣化が原因と考えられるが、症状を来している場合には早急に処置を施しておきたい。プラグ&プラグコードに関して、プラグの状態を確認し劣化しているようであれば交換。プラグコードはリーク（漏電）箇所がないかを確認し、発見した場合には交換が望ましい。で、さらに注意しておきたいのがイグニッションコイル。ダイレクトタイプだけに8個必要とするだけでなく、エスカレードには使用しているメーカーが2種類あるため、交換する際には現車を確認してメーカー名を確認することが大事となる。テンショナー&プリー&ベルトは3点セットと考えておき、消耗度合いに応じて交換するようにしよう。

Step #02

下回り

基本的なチェック項目を確実に押さえる

下回りで挙げるポイントとしては「タイロッドエンドブーツ切れ」「ピットマンアーム&アイドラアーム&ハブ」「エンジンオイル漏れ」「O₂センサー」「ブレーキパッド&サイドブレーキシュー」「デファレンシャル」「大口径ホイール装着による擦れ」だ。タイロッドエンドに限らずともブーツ切れはよく聞くことだが、エスカレードのタイロッドエンドブーツは、ブーツ単品での供給がないためタイロッドエンドごとと交換となる。ステアリング操作で重要な役割を担うピットマンアーム&アイドラアーム&ハブだが、大口径ホイールの装着率が高いエスカレードだけに、これらに負担がのし掛かってガタ付きを引き起こす場合が多々見られるそうだ。エンジンオイル漏れは、オイルクーラーホースのかしめ部分から発生していることが多く、症状に合わせて適切な処置をしておきたい。排気ガスに含まれる酸素濃度を検知しているO₂センサーは、比較的消耗が早い箇所でもある。劣化するとチェックランプが点灯し、要交換となる。ブレーキパッド&サイドブレーキシューについてだが、ブレーキパッドはとくにリアの減りが早いとのこと。時期がきたら対処しておきたい。サイドブレーキシューも同様で、消耗してくると引きずりを起こしかねない。そんな時は交換しておこう。デファレンシャルについては、前後ともにオイルシールの劣化によるオイル漏れが起きていないかを確認。漏れの状況に合わせて対処したい。大口径ホイールを装着する場合には、インナーハウスのクリアランスを考慮して、擦れが起きないように対処したい。

Step #03

エクステリア

他車種にも当てはまる内容

エクステリアで挙げられるポイントとしては「ヘッドライトのくすみ」「フォグランプのレンズカバー脱落」だ。ヘッドライトのくすみについては、エスカレードに限らずどの車種でも当てはまる内容。くすみ取りなどが市販されているので、試してみるのもいいだろうし、気になるのであれば交換してしまおう。で、意外だったのが、フォグランプのレンズカバー脱落である。知らずうちを外れてしまっていることが多いとか。このままでは車検はNGであるため交換が必要だ。

お問い合わせはCALWING PARTS CENTERまで
☎04-2927-0777 <http://www.calwingparts.com/>

アフターマーケット ¥3,800

Step #04

インテリア

インテリアにもチェック箇所が存在

さすがに、インテリアにおけるポイントはないだろうと思いきや、意外にもチェックポイントがあった。それは「メーターパネル」「インナードアハンドル」「集合スイッチ（運転席側）」である。メーターパネルについては、スピードメーターを始めすべての針が動かなくなってしまうことがあるだけでなく、パネル下部にあるインフォメーションが文字化けしてしまうのだとか。こうなってしまう場合には交換するしか策はない。インナードアハンドルに関しては耐久性の問題なのか、ハンドルの根本から「ボキッ」と折れてしまうことがあるらしい。運転席側の集合スイッチは、使用過多による接点不良、劣化などで作動不良を起こしやすいとか。

CADILLAC エスカレード
ESCALADE

エスカレードならではのウイークポイントは？



ボクシーなフォルムと、いかにも高級車たる威厳が際立つエスカレード。キャデラックの存在感がふんだんに漂うモデルだが、果たしてそんなエスカレードに弱点はあるのだろうか？ ズバリポイントを挙げていこう!!

エスカレードオーナー
その予備軍に最適なメンテ

最高級SUVとしての登場はライバルに一步後れを取った形だが、登場するやいなや瞬く間にこのジャンルのトップへと上りつめたエスカレード。その初代モデルは3アサインのにも中途半端感が否めなかったが、先代モデルでアサインが一新され人気も爆発、いかにもキャデラック、いかにも高級車たる佇まいに魅了された人は数知れず。中古車市場でも引く手あまたな存在なのは確か。

ここでは、そんなエスカレードのメンテナンスを履行し、注意しておかなければならないポイントだけを厳選してお送りしようと思う。これさえ把握しておけば、エスカレードのオーナーになれることはもちろん、現役オーナーにとってもきつと役立つことだろう。

